



ふくおか【Good👍】農業人100
 主な農産物／ミカン、米

只隈 智国さん (31歳) (営農地／みやま市山川町)

夢のあるミカン農家の経営を目指して

《就農のきっかけ》

始めは不安100%。それでも、やるからにはきちんとやり遂げたい

ミカン農家の次男である只隈さん。中学校の時に父を亡くし、農業は母親が頑張ってきました。只隈さん本人は農作業の経験はほとんどありませんでしたが、早く一人前になろうと、地元の美容学校を卒業後、東京や大牟田などで美容師やアパレル店員として働いていました。大牟田の美容室では若くして店長を任せられ、多くの顧客を担当する人気の美容師だったそうで、経営センスは素晴らしいものを持っていたのでしょう。この頃は、まさか自分が就農するとは思っていませんでした。

しかし、お兄さんが結婚を機に実家を継いだことをきっかけに、実家の農業について色々考えるようになり、「自分が家業を継がなければ」と思い就農しました。

《これまでの過程》

プライドを持ったミカン作り

「ミカン作りの経験がほとんどなかったため、最初は不安ばかりでした。実を言えば、農業を継ぐことに強い思い入れがあったとは言いきれず、美容師を辞めてよかったのかと自問自答することもしばしばありました。」只隈さんは就農当初の心境をこう語ってくれました。さらに「けれども、うじうじするのは男じゃない。やるならきちんとやり遂げようと考え、気持ちが吹っ切れました。」と続けてくれました。

しかし、実際に始めてみたら、専門用語はおろか、方言を交えた地元の人との会話の内容もわからない状態だったとか。そんなときに助けになったのが、地元のミカン作りの先輩たちです。

「周囲の人が声をかけてくれたり、快く仕事を教えてくれたおかげで乗り越えてこられました。」と当時を振り返っています。

只隈さんにとっては、尊敬できる先輩を見つけて、ともにミカンづくりに頑張れたことが大切なポイントだったようです。

モットーは「とにかくミカンの樹を観察すること。」と語る只隈さん



プロフィール

- 家族構成／母、本人
- 前職／美容師
- 営農年数／約6年
- 従業員数／時期により雇用
- 耕作(経営)面積／ミカン(1.5ha)、米(0.25ha)
- 販路／JA共販

は、新しい栽培技術にも積極的に取り組み、今では高品質なミカン安定して生産できるようになってきました。

《これからの展望》

うまいミカンより売れるミカン

ミカン農家にとっては、収穫時の労力確保のために雇用はとても重要です。前職で雇用管理の難しさを経験している只隈さんは、雇用の条件として、「被雇用者が働きやすい職場づくり」のため、作業しやすい園地づくりを心掛けています。

今後は既存の露地ミカン園地を優良品種へ計画的に改植更新し、高品質なミカン作りを実践していきたいと考えている只隈さん。「うまいミカンは誰でも作れる。消費者から選ばれる売れるミカンを作っていきたい。」という思いも、前職での経験が活かされているのでしょう。



Good👍 成功のためのポイント

1. マニアになること
2. 職人になること
3. 一つ一つの行動を突き詰めること